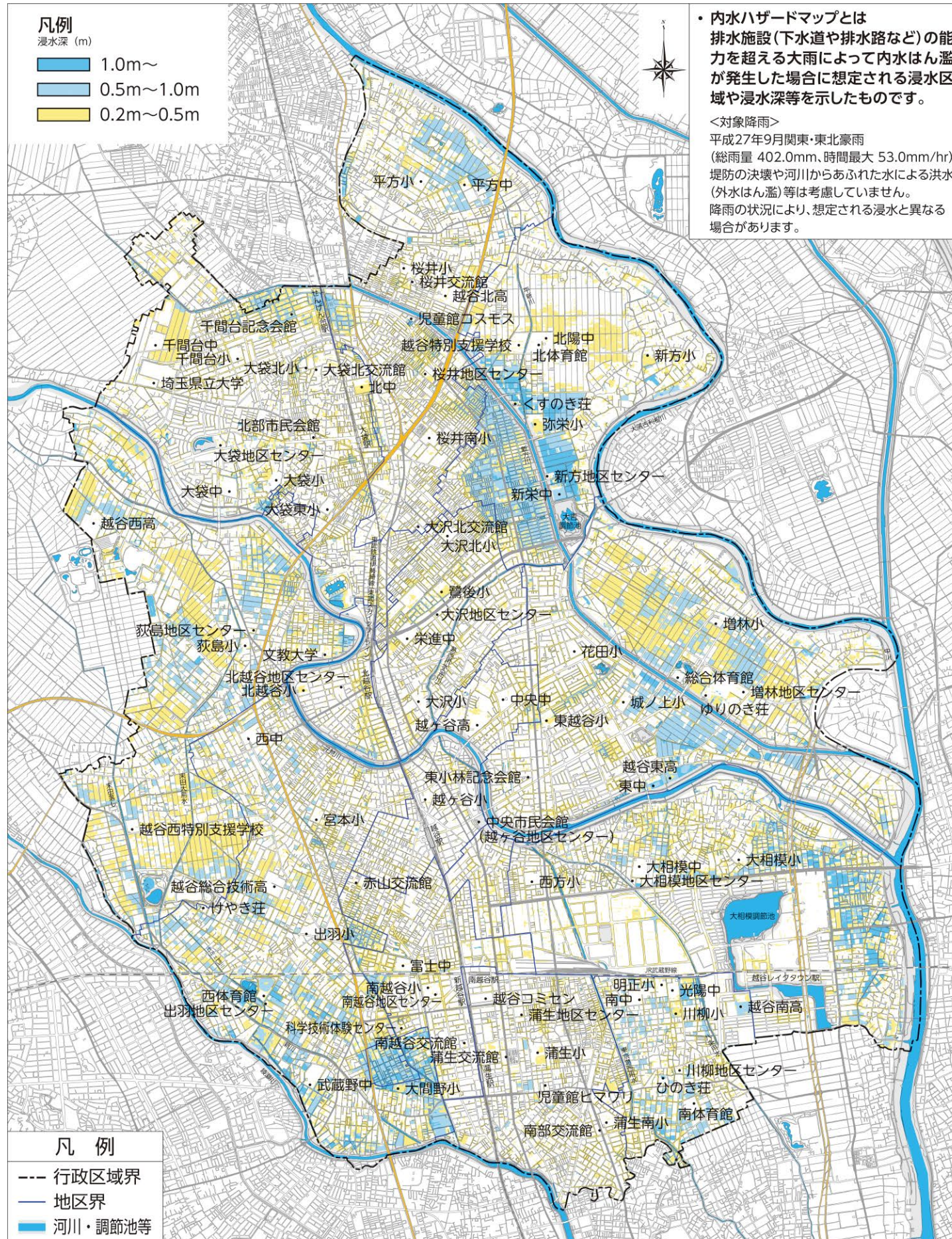
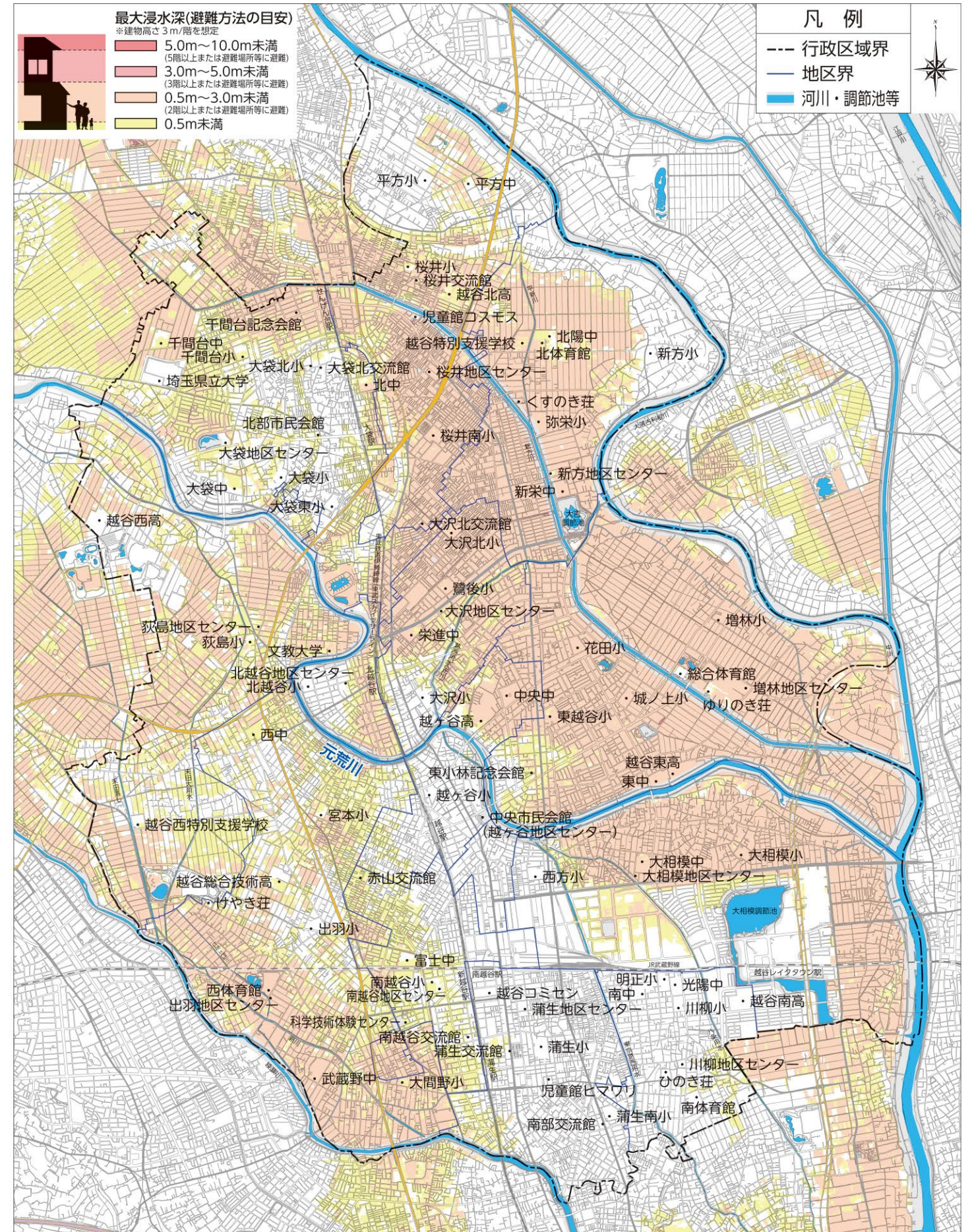


内水ハザードマップ（浸水シミュレーションにより作成）



元荒川がはん濫した場合の洪水浸水想定区域図



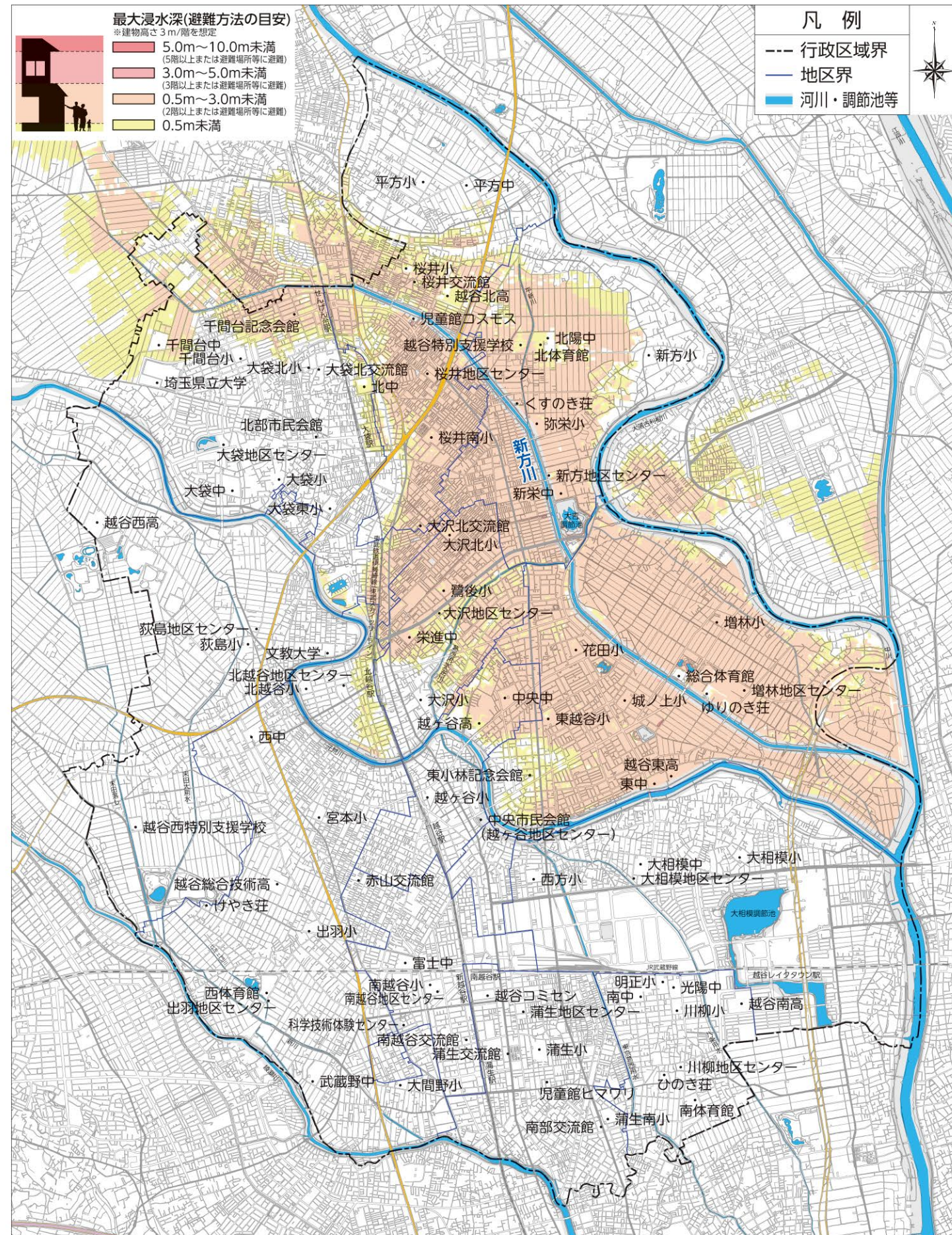
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を複製したものです。
（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 9）

1:50,000
0 100 500 1000 1500 2000m

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を複製したものです。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 8）
洪水浸水想定区域は、埼玉県土木整備部河川砂防課が作成した想定最大規模降雨による「利根川水系元荒川洪水浸水想定区域図」
（指定年月日：令和2年5月26日）を使用したものです。

1:50,000
0 100 500 1000 1500 2000m

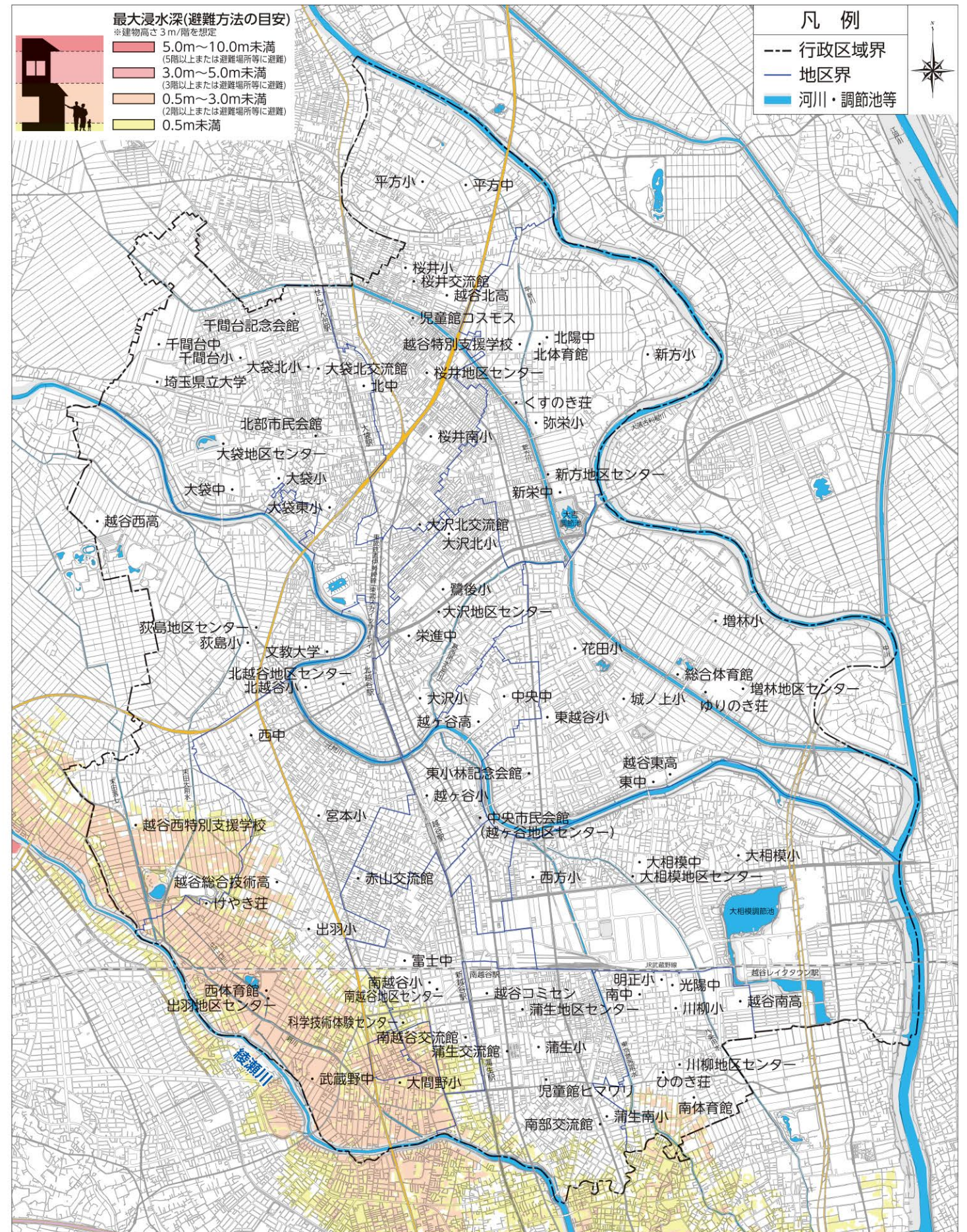
新方川がはん濫した場合の洪水浸水想定区域図



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を複製したものです。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R3JHs8)
洪水浸水想定区域は、埼玉県県土整備部河川砂防課が作成した想定最大規模降雨による「利根川水系新方川洪水浸水想定区域図」
(指定年月日:令和2年5月26日)を使用したものです。

0 100 500 1:50,000 1000 1500 2000m

綾瀬川がはん濫した場合の洪水浸水想定区域図



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を複製したものです。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R3JHs)
洪水浸水想定区域図、国土交通省関東地方整備局及び埼玉県土木整備部河川砂防課が作成した想定最大規模降雨による「利根川水系越前川」洪水浸水想定区域図
(指定年月日:平成29年7月20日、令和2年5月26日)を使用したものです。

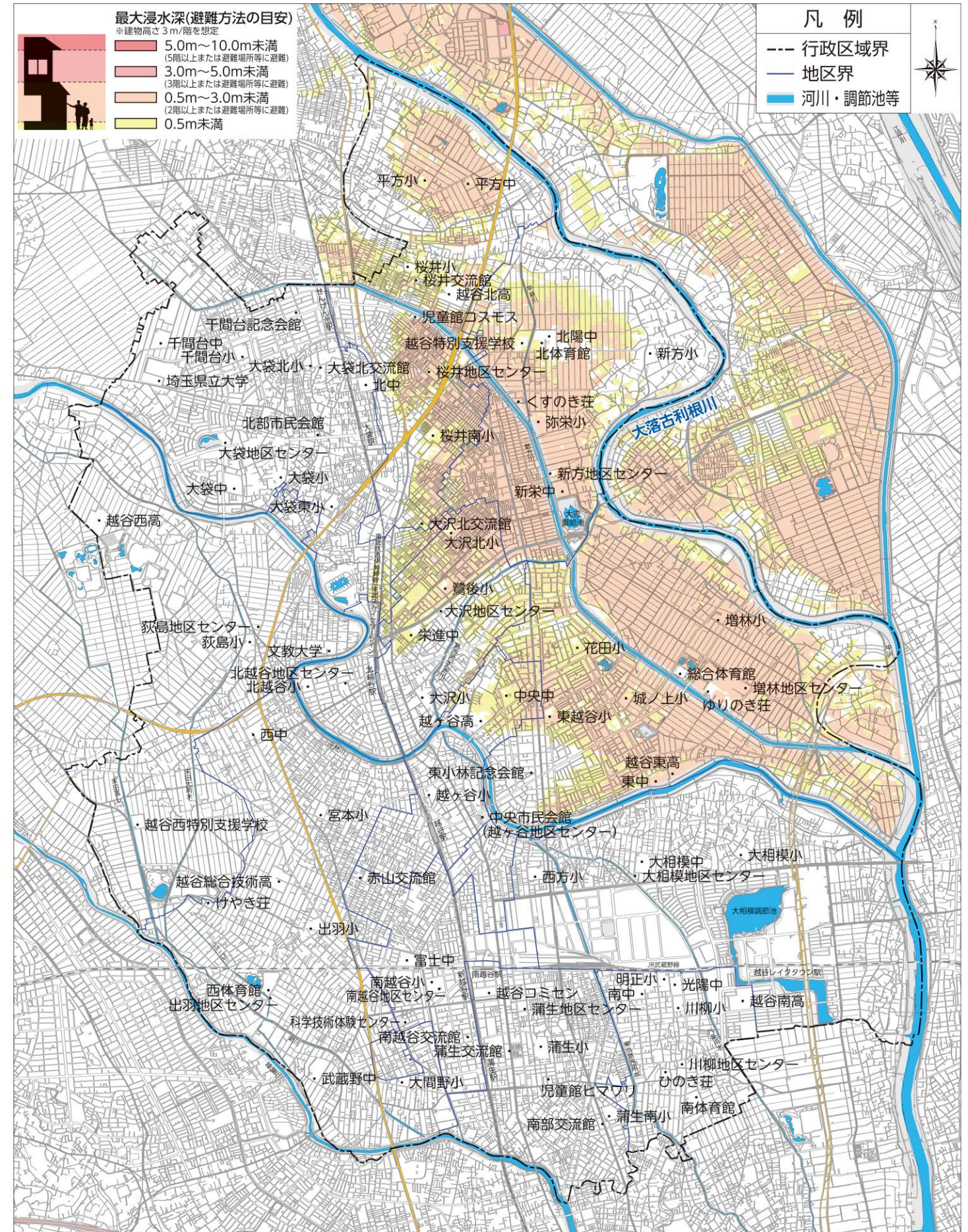
1:50,000

0 100 500 1000 1500 2000m

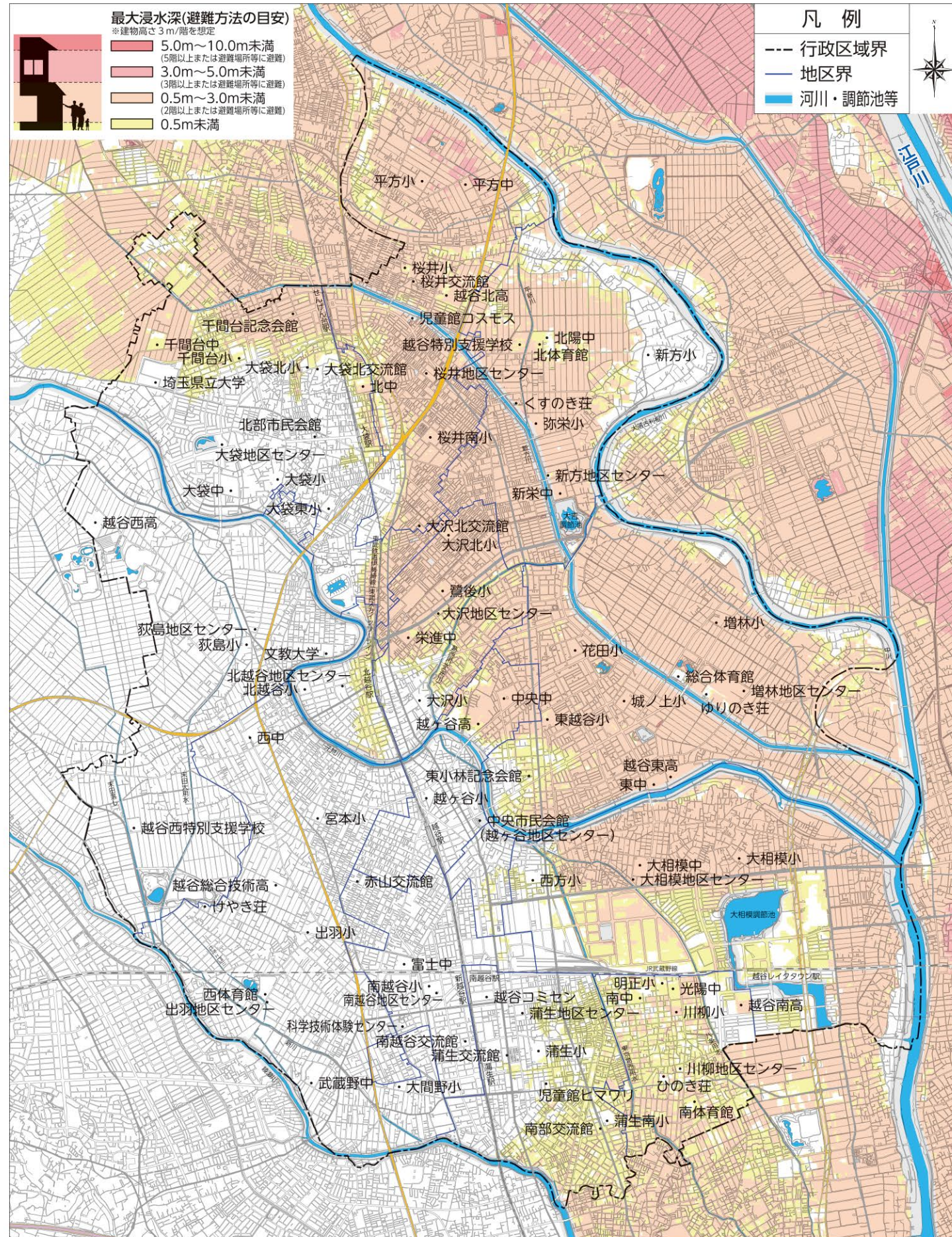
中川がはん濫した場合の洪水浸水想定区域図



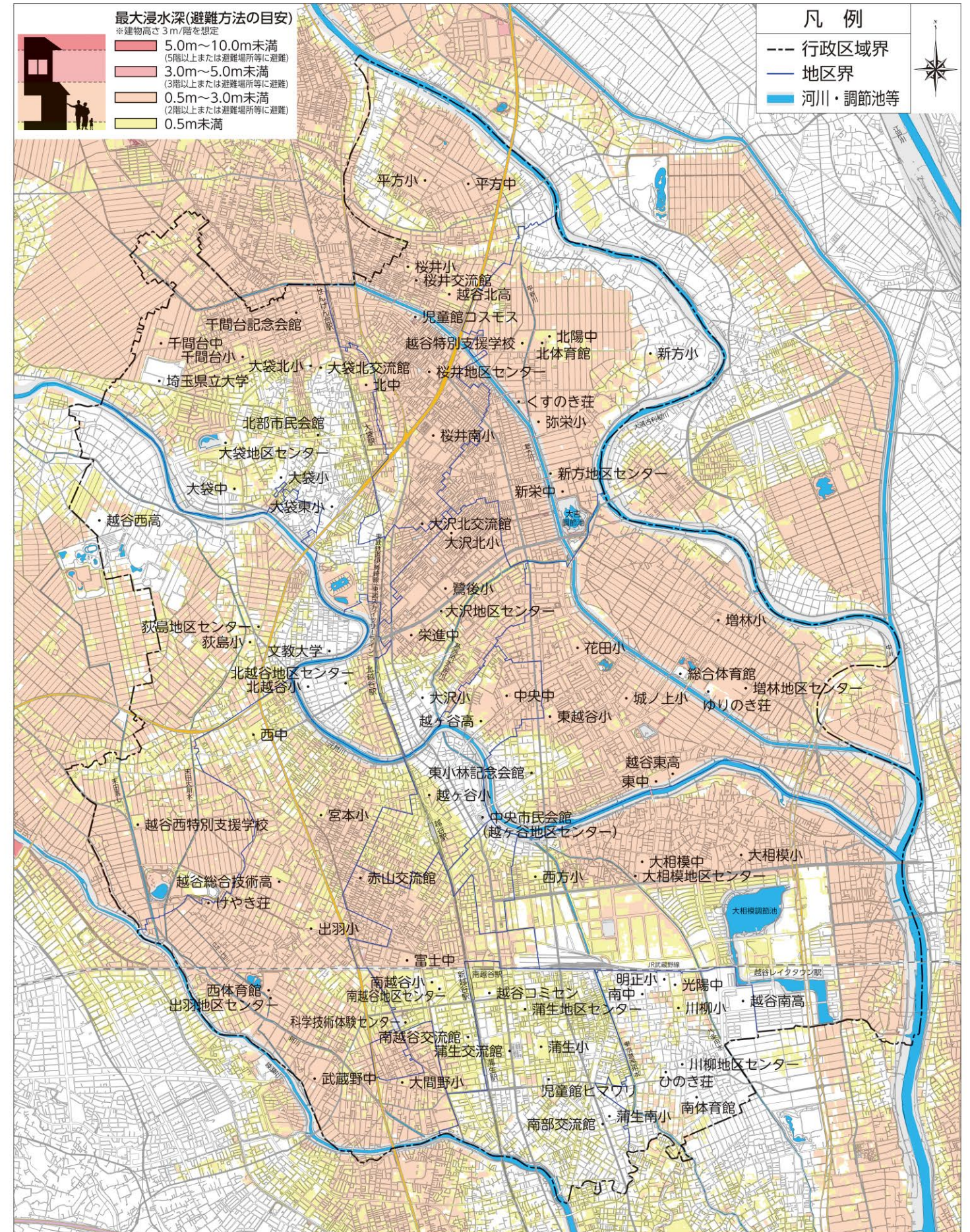
大落古利根川がはん濫した場合の洪水浸水想定区域図



江戸川がはん濫した場合の洪水浸水想定区域図



荒川がはん濫した場合の洪水浸水想定区域図



正しく避難するために

洪水ハザードマップの使い方のポイント

- 避難のタイミングやとるべき避難行動について確認しておきましょう。

気象庁が発表する気象情報や越谷市が発令する避難情報について確認し、災害が発生したときのとるべき行動を考えておきましょう。



- 余裕を持って安全に避難するために、マイ・タイムラインを作って、自分の行動を考えておきましょう。

洪水のような状況が変わっていく災害が発生した際に、「いつ」、「何をするのか」を事前に確認しておくことで、水害時の避難行動の判断に役立てましょう。マイ・タイムラインについてはP.33を確認。



- いざというときに備えて、普段から家庭内の備えをしておきましょう。

いざというときのために、普段から家庭内での備えや家屋の点検等を行い、災害が発生したときに備えましょう。



洪水に関する情報を詳しく知りたいときは？



まるごとまちごとハザードマップ

利根川などの河川がはん濫した場合の想定される浸水の深さを表示した看板や、指定緊急避難場所・指定避難所への避難場所誘導標識を市内各所に設置しています。

ハザードマップポータルサイト

国土交通省のポータルサイトから、身のまわりの災害リスクを事前に調べてみましょう！



川の防災情報

国土交通省の川の防災情報から、河川の水位情報やリアルタイムのカメラ画像などから洪水の危険性を把握してみましょう！

高解像度降水ナウキャスト

気象庁の高解像度降水ナウキャストから、1時間先までの雨雲の動きなどを確認してみましょう！



地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ）

国土地理院の浸水ナビから、自分の住んでいる地域がどのくらい浸水するのか、何時間で浸水が始まるのか、何日で水が引くのかなどについて確認し避難行動に役立てましょう！

5段階の警戒レベル

気象や避難の情報は、状況に応じて下の表のとおり発令されます。避難情報等は必ずしもこの順番で発令されるとは限りません。また、これらの情報が発令されていなくても危険を感じたら避難するなど、適切な行動をとってください。

警戒レベル	みなさんがとるべき行動	気象や避難の情報
5	すでに 災害が発生 している状況です。 命を守るための最善の行動 をとりましょう。	緊急安全確保 (越谷市が発令)
<警戒レベル4までに必ず避難！>		
4	速やかに危険な場所から避難 しましょう。公的な避難所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。 (垂直避難)	避難指示 (越谷市が発令)
3	避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者は避難をしましょう。 その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 (越谷市が発令)
2	自宅の2階以上への移動の準備や ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認 しましょう。	氾濫注意報 大雨注意報 (気象庁が発表)
1	最新の気象情報などを確認しておくなど、 災害への心構えを高め ましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)

※必ずこの順番で発令されるとは限らないので注意してください。
※これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を始めてください。
※感染症のリスクを避けるためにも、親戚や知人の家など、避難所以外の場所への避難も検討してください。

避難行動のポイント

防災情報や気象情報を収集し、状況に応じた適切な避難行動をとりましょう。

自宅や近くの丈夫な**建物の上階へ避難**する**在宅避難**や**垂直避難**も有効な避難行動の1つです。

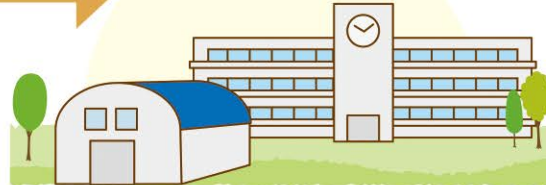
「避難とは、難を避ける」ことであり、避難所に行く事だけではありません。

在宅避難・
垂直避難



建物の上階への避難

水平避難



広域避難



安全な親戚や
知人宅などへ避難

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人がいる場合には、**広域避難**として**安全な親戚や知人宅などへ避難**することも考えましょう。

● 避難のポイント

① 避難を開始する前に

全ての避難所が同時に開設されるわけではありません。避難を開始する前に、まずは今どここの避難所が開設されているかをテレビや市ホームページ、防災アプリなどで確認しましょう。

次に、開設されている避難所までの避難経路の確認、気象情報や河川水位等の情報を集めましょう。

② 外に避難する場合

自宅から外に避難する場合、風雨が強まった夜間等に道路が冠水していると足元が見えず大変危険です。浸水時に歩ける水深は膝くらいの高さまでです。（目安：男性 70cm、女性 50cm、子供 20cm）風雨が強まる前の明るいうちに避難することを心がけましょう。

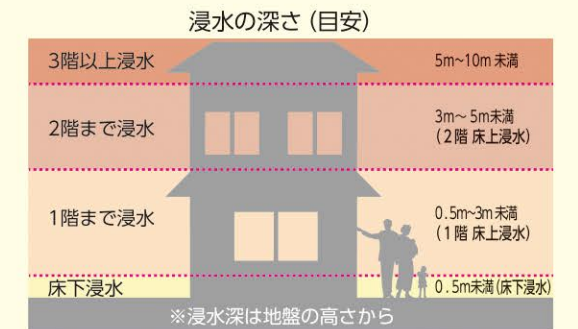
③ 在宅避難も避難行動

避難所に行くことだけが避難ではありません。見ず知らずの人々と避難所で共同生活を送ることは心身ともに負担を伴います。また、自宅で安全が確保できるのであれば、**住み慣れた自宅にとどまる在宅避難・垂直避難**は有効な避難行動の1つです。

あなたがとるべき避難行動を確認してみましょう！

スタート

- ・自宅は____階まで浸水するおそれ
※洪水ハザードマップを確認してみましょう。
- ・自宅は____階建て
自宅の最上階は浸水する？



はい

自分自身と一緒に避難する人の中に
高齢者や障がい者、乳幼児など**避難
に時間がかかる人**がいる。

はい

高齢者等避難の発令で避難を開始

安全な場所に住んでいて
身を寄せられる親戚や知人がいる。

はい

安全な親戚や知人宅などへ避難（**広域避難**）
日頃から相談しておきましょう。

いいえ

**自宅の浸水しない上階へ避難
(在宅避難)**

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地にお住まいの方は、避難情報を参考に必要に応じて水平避難または広域避難。

いいえ

避難指示の発令で避難を開始

安全な場所に住んでいて
身を寄せられる親戚や知人がいる。

いいえ

近隣のできるだけ高い建物へ避難
(**垂直避難**)
または
避難所へ避難
(**水平避難**)

はい

安全な親戚や知人宅などへ避難（**広域避難**）
日頃から相談しておきましょう。

いずれの場合も、安全な避難経路を普段から確認しておきましょう！

避難する場合は以下のポイントを確認し安全に避難しましょう！



- ・夜間に大雨が予測される際には、暗くなる前に避難しましょう。
- ・避難に時間を要する方とその支援をする方は「**高齢者等避難**」、その他の方は「**避難指示**」で避難を開始してください。

避難する際は、近所の人にも声を掛け、互いに助け合いましょう！

マイ・タイムラインを作ろう！

マイ・タイムラインとは？

マイ・タイムラインとは、住民一人ひとりのタイムライン（防災行動計画）です。台風等の接近や大雨に備えて、いつどのように行動するべきか考えてみましょう。

気象や避難の情報		市の情報	みなさんがとるべき行動	
3日前	数日後に猛烈な台風が接近する可能性があります。 まだ周りは晴れています。	市が発令する避難情報↓	警戒レベル1	● テレビの天気予報に注意 ● 家の周りで風で飛ばされるようなものはないか確認 ● 防災グッズ等の確認 ● 病院に薬を受け取りに行く
2日前				● テレビ、インターネット等で雨や川の様子に注意
1日前	猛烈な台風が関東を直撃する予報がでています。気象庁が 大雨注意報 を発表しています。 今後、気象庁が 警報 を発表する可能性が高まります。		警戒レベル2	● 住んでいるところと上流の雨量を確認 ● 携帯電話、モバイルバッテリー等の充電 ● ハザードマップで避難所、避難手段を再確認
半日前	● 雨と風がかなり強くなりました。 ● 排水しきれない雨水が道路にたまっています。 ● 気象庁が大雨警報を発表しています。 ● 市が高齢者等避難（警戒レベル3）を発令しました。	高齢者等避難	警戒レベル3	● 川の水位や道路の通行止め情報をインターネット等で確認する ● 避難しやすい服装に着替える
5時間前				● 防災行政無線や携帯メール等で高齢者等避難情報を受信する ● 浸水のおそれがある場合は、避難を始める
3時間前	市が 避難指示（警戒レベル4） を発令しました。 今後、気象庁が 特別警報 を発表する可能性が高まります。	避難指示	警戒レベル4	● 防災行政無線や携帯メール等で避難指示を受信する ● 安全なところへ速やかに避難（戸締まりとブレーカーを確認） ● 避難所への移動が難しい場合には自宅内で安全を確保
0時間	災害発生！ 外は身の危険を感じるほどの風雨が吹き荒れています。これからの自宅外への避難はかえって危険です。		警戒レベル5	● 命を守るための最善の行動をとります
		緊急安全確保	直ちに“安全を確保”	

マイ・タイムライン使用時の心得	あくまでも行動の目安！	気象情報等をこまめに確認！	情報をもとに、臨機応変に行動を！
災害は自然現象であり、想定したとおりに進行するとは限りないので注意しましょう。	台風の進路や雨の降り方、川の水位の上がり方は毎回異なります。	避難情報や気象情報は状況に応じて発令・発表されます。	収集した情報をもとに、臨機応変に避難行動をとりましょう。

※身近な河川で作ってみましょう！

利根川の場合		() 川の場合
3日前	● ● ●	● ● ●
2日前	●	●
1日前	● ● ●	● ● ●
半日前	● ●	● ●
5時間前	● ●	● ●
3時間前	● ● ●	● ● ●
0時間	● ●	● ●

洪水のおそれがある時の行動と事前の備え

いざ避難！ そのときどうする

■ 正確な情報収集

テレビやラジオ、スマートフォンなどを活用し、最新の警報・気象情報・避難に関する情報を入手しましょう。



■ 避難に関する情報に注意

市から避難に関する情報が発令されたときは、速やかに避難しましょう。



■ 車での避難行動は控える

道路が冠水して動けなくなったり、緊急車両の通行の妨げになったりする場合があるため、できるだけ車での避難は控えましょう。



■ 近くの高い建物に避難

近くの丈夫な建物の高いところや上の階に避難して救助を待ちましょう。



■ 河川などの危険な場所に近づかない

河川や水路の様子を見に行くなどの行動は危険ですのでやめましょう。



■ 動きやすい服装での避難行動

避難するときは動きやすい服装にしましょう。サンダルや長靴は避難に適さないので運動靴を履きましょう。



■ 足元に注意

洪水発生時は足元が見えなくなり、側溝やはずれたマンホールなど、危険な場所が隠れています。長い棒を杖代わりにするなど、安全を確認しながら避難しましょう。



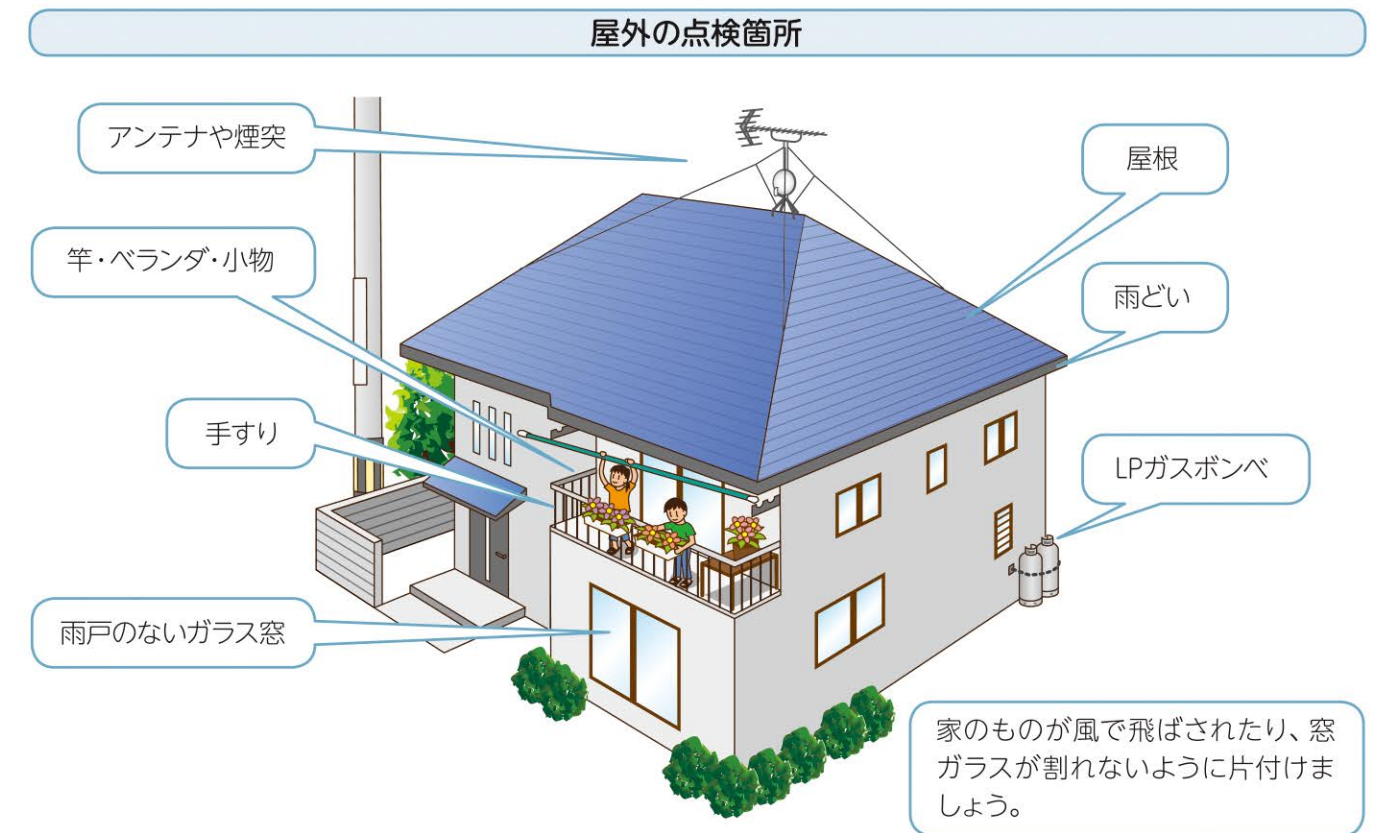
■ 協力して避難

避難する時はできるだけ1人での行動は避けましょう。また、ご近所の子供や高齢者、体の不自由な方などの避難に協力しましょう。



わが家の備えを再確認

台風や大雨は、ある程度予測できます。事前に雨や強風への対策を取ることで被害が軽減できます。天候が悪くなる前に準備を始めましょう。



家庭でできる浸水対策

■ 玄関や出入口からの浸水防止

◆ 止水板や土のうなどを活用
止水板や土のうなどを使って、浸水を防ぎましょう。



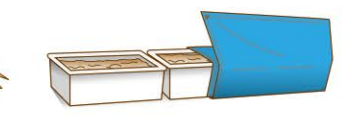
◆ 簡易水のうの作り方

止水板や土のうがない場合は、ゴミ袋を2重にして中に半分程度水を入れ、袋の口をしぼると簡易水のうができます。ダンボール等に入ると持ち運びに便利で設置も簡単です。



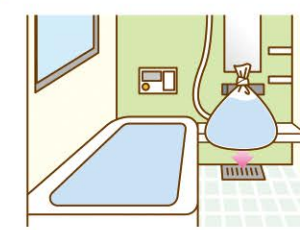
◆ プランターやポリタンクを活用

プランターやポリタンクを並べてレジャーシートで包み浸水を防ぎます。

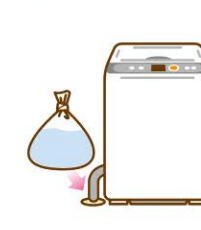


■ 排水口からの浸水防止

◆ 水のうを利用して排水口からの浸水を防ぎましょう



風呂場



洗濯機



トイレ



浸水の危険がある場合には、大切な家財道具は2階や高い安全な場所に移動しましょう。